

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	コンピュータ画像解析を用いた慢性肝炎・肝硬変患者におけるHCC発癌予測		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2021年3月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に慢性肝炎または肝硬変を有し、当院で腹部造影ダイナミックCT またはMRI を施行された患者検査を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2009年1月1日 から2018年7月31日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	第1内科、第1外科、第2外科、放射線科		
⑦ 研究責任者	氏名	田辺昌寛	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	CT・MRI 画像、年齢、性別、現病歴、既往歴、肝炎ウイルス感染の有無、血液検査結果（総蛋白、アルブミン、AST、ALT、LDH、ALP、 γ -GTP、ビリルビン、血小板、プロトロンビン時間）、肝腫瘍の病理診断結果、慢性肝炎・肝硬変および肝癌の治療経過		
⑨ 研究の概要	<p>肝細胞癌のスクリーニングや診断にはCTやMRIが広く用いられています。肝細胞癌はウイルス性肝炎、アルコール性肝障害、非アルコール性脂肪肝炎などを背景として発癌することが知られており、また発癌過程も長期にわたって多段階に進行していくことから、境界病変から早期肝癌の段階で発見することが重要であり、さらには結節の存在しない段階で、将来的な発癌を予測できればより臨床的に有用です。近年、医療画像において、コンピュータを用いた診断支援も研究されており、肝結節性病変の存在診断や鑑別診断に対する報告もみられます。しかし、背景肝実質のコンピュータによる画像解析に基づく発癌予測を他の発癌因子と組み合わせることで検討された報告はありません。本研究の目的は、慢性肝炎や肝硬変を背景とした肝臓のCTやMRI画像をコンピュータ支援画像解析することにより、担癌肝実質と非担癌肝実質との違いを明らかにし、他の発癌因子との組み合わせに基づくコンピュータによる背景肝実質の画像解析が肝細胞癌の発癌予測に寄与するかを検討することである。これらの新たな肝細胞癌サーベイランスシステムを導入することで肝細胞癌の早期診断につなげることが期待される。また、本研究の画像解析は創成科学研究科知能情報工学分野と医学部医学科システムバイオインフォマティクスと協力して行う。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年10月23日	
⑪ 研究計画書等の閲	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び		

覧等	知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田辺昌寛		
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285

別添

研究組織

研究代表者

山口大学大学院医学系研究科 放射線医学 田辺昌寛

研究参加施設と責任者

山口大学医学部附属病院 田辺昌寛

山口大学大学院創成科学研究科 平野靖

山口大学大学院医学系研究科 システムバイオインフォマティクス 浅井義之